

けいじばん

5月9日第1回役員会を開催し、当面必要な次の事項につき協議し決定しましたのでお知らせします。

1. 豊英島への集合方法と駐車

- ・当番役員(通常長村幹事)が森林館で鍵を借り AM9:40 迄に開門。
- ・全ての車両は同乗者を豊英島で降ろし AM9:45 迄に森林館駐車場に集合、運転者はピストン輸送の鶴沢車他1台で豊英島に集合する。
—トラブル回避のため現地駐車台数を最小限に制限する。平日等で現地駐車の場合は別途連絡。—

2. 安全作業のための保護帽と服装

- ・安全のため保護帽(ヘルメット)着用を原則とする。林業作業の保護帽は「飛来・落下物用」と記載されたものが望ましい。活動内容により不必要な場合は各会員の判断で非着用可。
- ・作業靴は靴底固く、くるぶしまであり、すべり止めのある安全作業に適する靴を着用のこと。
- ・服装は安全、虫刺され・熱射防止と作業性に適する服装を各自心がける。夏も長袖着用。

3. スズメバチ対策;別紙「スズメバチ対策」(中島幹事作成)を参考にスズメバチから身を守る。

4. ネームプレート;プラスチックのネームプレートと木細工の木札を準備する。

- ・ネームプレートは事務局で準備し配布、各自保管し出席の都度持参。
- ・木札は休憩時間等に各自作成、接着具は事務担当準備。

5. コミュニケーション誌(メール)の発行

- ・コミュニケーション充実のため、会員宛の連絡事項(けいじばん)と活動報告(かつどうのきろく)から成る会報誌を発行する。活動報告は役員が交替で担当、文章は出来るだけ簡潔にし、欠席者にもイメージが伝わるよう写真入りとする。
- ・経費節約のためメール受信可能な会員にはメールで送信する。写真の送受信の問題(時間が長い)は次号までに改善する。
- ・郵送分は経費節約のため次号から白黒にする。ご容赦下さい。
- ・この会報誌に関するご意見ご要望あれば承り、次号以降の改善に活かします。

次回活動日は6月8日(日)です。上記1~4は次回活動日から実行です。ご協力宜しくお願いします。

その他のお願い

- メールアドレスの新設、変更は必ず事務担当に連絡下さい。
- メールは時々(3日に一度程度)開封閲覧下さい。開封、判読等出来ないときは通報下さい。
- 活動計画は年当初計画通り実施。その都度通知はしないので当初計画表を見て参加下さい。
- 課外活動はその都度連絡します。県機関等に指導頂く活動は平日になりますのでご了承ください。
- 各駅で同乗予定の方が欠席する時は必ず運転者に連絡下さい。
- 同乗者のある運転者が欠席の場合は代車を準備しますので早めに事務担当に連絡下さい。
- 「中島車に君津駅で錦織・西村乗車」を「中島車に五井駅で錦織・西村乗車」に変更します。

かつどうのきろく



[5月9日(金)] 新緑の快晴

課外活動 会員参加9名、小平顧問他3名

・きのこ原木伏せ込み;3月に菌のこま打ちした5種類—シイタケ、ナメコ、ムキタケ、ヌメリシギタケ、クリタケの原木を「ムカデ伏せ」(写真↓)「接地伏せ」「落ち葉掛け」「覆土」の各方法で伏せ込み、特に「覆土」の穴掘りと「落ち葉掛け」用の落ち葉集めに皆汗を流した。
 ・エビネ観察;コナラ林にエビネの群落点在。千年山を越え千尋の谷の中腹に黄エビネではない黄色がかったエビネ(←写真)昼なお暗い常緑樹林にピンクがかったエビネひっそり、全て同じ種類のエビネの生育条件差による変化という小平学説。
 ・豊英の植物解説;当日採取した植物見本を見ながら37種類の島の植物紹介小平室長講話を興味深く拝聴。

[4月13日(日)] 春爛漫の快晴

会員22名参加、小平顧問他2
 —4/16 設立総会報告で既報—

・設立総会終了後豊英島周遊調査に続き3班に分かれ森の整備作業に汗を流す。
 ・ホテイ竹林整備、マダケなど伐採、観察路整備
 ・マダケ林整備、マダケ密度調整、観察路整備
 ・マダケ林に向かう観察路の倒木処理

広場からホテイ岬までの路が開通し、森が写真↓のように明るくなった。



[3月19日(水)] 早春の快晴

課外活動 会員11名参加、小平顧問他3

・きのこのコマ打ち

①シイタケ②ナメコ③ムキタケ④ヌメリシギタケ⑤クリタケの5種類を植菌、コマ打ち作業はABC3人1組、Aはドリルで原木に15センチ間隔に開孔、Bは孔に菌のコマ8mm径、約2cmを挿入、Cは木槌でコマを打込む組作業。1種類平均2千本、合計約1万本のコマ打ち。組3人の息がピッタリ合い、快調のリズムに乗って快い汗を流した。来年秋が楽しみ。

・早春の林床植物;シュンランとカンアオイ

当日きのこコマ打ち作業を邪魔する程シュンランが花盛り、最初は踏み付けまいよう気をつけたがあまりに多く、多少踏付けたり、きのこ原木に踏付けられた。ゴメンナサイ。カンアオイも葉の陰に花がヒっそりと逞しく。これほどのカンアオイの群生は珍しいとのこと。